

■ 返子市高齢者保健福祉計画

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	高齢化の急速な進展や、地域社会・家族関係が大きく変容していく中において、高齢者が住み慣れた地域で、安心して住み続けることができ、人生を豊かに過ごすことができるような地域社会の構築を進めていかなければなりません。 年齢を重ねてもできる限り要支援・要介護状態とならないための予防の取り組みや、介護サービスの基盤整備を進めていくとともに、多様な生活ニーズや地域課題の把握に努め、介護、医療、行政、地域などが連携したネットワークを構築し、いつまでも心豊かに、自分らしく暮らしていけるような環境づくりを進めていきます。	見直しの必要性

◇審議会・懇話会等の意見

審議会等が妥当と考える区分	見直しの必要性についての意見

■ 返子市障がい者福祉計画

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	これまでわたしたちが築いてきたノーマライゼーションとリハビリテーションの理念を継承し、障がいのある人もない人も、誰もが分け隔てられることなく、「地域で自分らしく生きるため」「安心して納得できる生き方を求めて」、それを実現していくことができるまちづくりを進めます。 障がいのある人を取り巻く環境は、複雑化、多様化しています。誰もが生まれてからずっと安心して暮らし続けられるよう、ライフステージに応じた一貫した支援体制を充実するとともに、災害等緊急時の備え、バリアのない環境づくりを進める必要があります。 また、道路や施設等の整備だけでなく、こころのバリアフリーも実現し、障がいのある人ない人、団体、地域などあらゆる主体が支え合えるようなまちづくりを進めます。	見直しの必要性

◇審議会・懇話会等の意見

審議会等が妥当と考える区分	見直しの必要性についての意見

○ 返子市子ども・子育て支援事業計画

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	急速な少子化の進行や、家庭や地域を取り巻く環境の変化、地域とのつながりの希薄化の中で、心豊かに子育てをするためには、子育てに対する不安や孤立感を減らし、子育ての喜びを実感できることが必要です。子育てを親が主体的に行えるよう、まち全体で子育てを応援し、住み慣れた地域で安心して子どもを生み育てることのできる総合的な支援体制の充実をめざします。 さらに、家庭環境や雇用形態の多様化などを踏まえ、家庭と地域や学校等が相互に協力し、まちを生かした豊かな遊びと学びの環境を整え、すべての子どもが愛され信頼されることを通じて、次世代を担う子どもたちが、心身共にたくましく生きる力と豊かな人間関係を培うことができるよう、地域と共に育むまちづくりをめざします。	見直しの必要性
		見直す必要なし

◇審議会・懇話会等の意見

審議会等が妥当と考える区分	見直しの必要性についての意見

返子市子ども・子育て支援事業計画

【事業進行管理表】
資料3

【総合計画の体系】 1-5		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	5,760千円
事業名	子育てネットワーク構築事業			

事業概要	目的	子育てに関する情報の一元化、総合化を行い、子育て情報の提供を充実させる。			
	対象	子育て中の保護者等			
	手段	子育てに関するポータルサイトを構築し、インターネットを活用した情報の発信と収集を一元的、総合的に行う。			
年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	
	○子育てポータルサイトの構築、運営 ○子育てに関わるネットワーク会議の設置・運営 ・子育て関連情報・課題の共有	○子育てポータルサイトの運営 ○子育てに関わるネットワーク会議の設置・運営 ・子育て関連情報・課題の共有	同左	同左	
	目標【2018(平成30)年度】		現状【2013年度末】		
	子育てに関するポータルサイトがある。		子育てに関するポータルサイトがない。		

＜2017年度 進捗状況＞		事業費(2017(平成29)年度実績額)	円
実施結果	子育てポータルサイトの充実(フェイスブックの活用によりイベント状況を発信等) アクセス数が16,454件/月 子育てネットワークの開催(年2回実施)	目標達成状況	ポータルサイトのアクセス数は昨年度比15%増となった。
事業の反省点・問題点		工夫している点	利用者の視点に立った情報提供として、子育て中の市民ママのレポートを掲載している。子育てネットワーク会議では第1回は「子育てと仕事の両立について」、第2回は「グローバルな社会と子育て」をテーマに開催した。
進捗状況	ア ①予定どおり進捗	個別事情 <small>考慮すべき状況変化等</small>	総合評価 (a) 順調である

＜審議会・懇話会等の意見＞

		審議会等が妥当と考える評価区分

返子市子ども・子育て支援事業計画

【事業進行管理表】
資料3

【総合計画の体系】 1-5		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	13,192 千円
事業名	体験学習施設講座等事業			

事業概要	目的	児童青少年の健全育成。
	対象	市民及び児童青少年
	手段	体験学習施設における講座等のイベントの実施並びに貸館業務の実施。

年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○体験学習施設の企画運営委員会企画事業の実施 ・企画運営、実施に携わる人材の育成講座の実施 ○実行委員会形式による体験学習施設まつり等の実施	同左	同左	同左

目標【2018(平成30)年度】		現状【2013年度末】	
・延べ受講者数1,500人 利用者数45,000人		開所されていない。	

<2017年度 進捗状況> 事業費(2017(平成29)年度実績額) 1,101,460 円

実施結果	主催講座25講座の実施 受講者数述べ1,430人 体験学習施設利用者数 児童青少年20,093人 大人5,638人 スマイル祭り 約2,500人	目標達成状況	講座受講者数は目標をほぼ達成した。 利用者数は目標値の約60パーセントを達成している。
	居場所のない児童青少年へのきめ細かい対応を行う必要がある		工夫している点

事業の反省点・問題点	居場所のない児童青少年へのきめ細かい対応を行う必要がある	工夫している点	講座をきっかけに来館する児童青少年の居場所となるよう様々なメニューを用意している。
------------	------------------------------	---------	---

進捗状況	ア ①予定どおり進捗	個別事情 <small>考慮すべき事 社会状況変化等</small>	総合評価	(a) 順調である
------	------------	---	------	-----------

<審議会・懇話会等の意見>

			審議会等が妥当と考える評価区分

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【事業進行管理表】
資料3

【総合計画の体系】 1-5	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業名	子育て支援センター運営事業		

事業概要	目的	子育て中の保護者からの相談を受けるほか、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。		
	対象	乳幼児を子育て中の保護者等		
	手段	桜山に施設を設置し、アドバイザーを配置。フリースペースとして子どもを遊ばせる中からの相談、必要に応じた個別相談を電話・来所・訪問の方法で行う他、巡回相談を実施する。		
年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
	○子育て支援センターでの子育て相談の実施 ○沼間、小坪の子育て・子育て応援拠点での巡回相談の実施(月4回) ○巡回相談の拡充の検討	同左	同左	同左
目標【2018(平成30)年度】			現状【2013年度末】	
年間15,000人が来所。 子育てネットワーク構築事業と連携した情報提供ができています。			子育て支援センター来所者:5,446組11,627人 小坪親子遊びの場(巡回相談)来所者:181組385人 沼間親子遊びの場(巡回相談)来所者:516組1,174人	

<2017年度 進捗状況> 事業費(2017(平成29)年度実績額) 16,875,022 円

実施結果	桜山の子育て支援センターの相談と沼間親子遊びの場、小坪親子遊びの場で毎週1回巡回相談を実施した。 平成29年度子育て支援センター利用実績 年間開所日287日 利用者数5,044組10,879人 小坪巡回相談51回開催 利用者数128組287人 沼間巡回相談47回開催 利用者数380組869人 子育て支援センター利用者・ほっとスペース利用者合計*****人		目標達成状況	年間来所数:12,035人 ネットワーク会議でのご意見が多かった、イベント情報、施設の紹介などの情報を提供した。	
	事業の反省点・問題点	工夫している点		子育て支援の施設がそれぞれの特色持って運営できるよう取り組んでいる。子育て支援センターは相談ができる子育て施設としての特色を生かしている。	
進捗状況	ア ①予定どおり進捗	個別事情 社会状況変化事情	子育て支援センター、体験学習施設スマイル、ほっとスペース等を利用する利用者が分散している。	総合評価	(a) 順調である

<審議会・懇話会等の意見>

		審議会等が妥当と考える評価区分

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【事業進行管理表】
資料3

【総合計画の体系】 1-5	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち				
所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	千円
事業名	妊産婦・乳児訪問事業				

事業概要	目的	安全な妊娠・出産の確保、安心して子育てできる環境の確保及び個人の健康状態に応じた支援環境の確保を目的とし、妊娠期から産後まで一貫した相談を行う。			
	対象	妊産婦と乳児			
	手段	保健師による乳幼児妊産婦の訪問指導のほか、助産師による初妊婦、初産婦、ハイリスク妊婦、ハイリスク産婦、新生児に対する訪問指導を全ての乳児のいる家庭を対象に実施。			
年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	
	○保健師による乳幼児妊産婦の訪問指導のほか、助産師による初妊婦、初産婦、ハイリスク妊婦、ハイリスク産婦、新生児に対する訪問指導を全ての乳児のいる家庭を対象に実施。	同左	同左	同左	
目標【2018(平成30)年度】			現状【2013年度末】		
保健師及び助産師がすべての乳児のいる家庭を訪問し、相談に応じている			保健師、助産師が訪問や相談に応じている。		

<2017年度 進捗状況> 事業費(2017(平成29)年度実績額) 2,686,800 円

実施結果	対象者347人 訪問346人 訪問率99.7%		目標達成状況	保健師、助産師が訪問や相談に応じている。	
	事業の反省点・問題点			工夫している点	
進捗状況	ア ①予定どおり進捗	個別事情 社会状況 変化等	総合評価	(a) 順調である	

<審議会・懇話会等の意見>

		審議会等が 妥当と考える 評価区分

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【事業進行管理表】
資料3

【総合計画の体系】 1-5	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業名	子ども相談室運営事業		

事業概要	目的	児童福祉法に基づく要保護児童対策ネットワーク会議を中心に児童相談所や警察署、保健福祉事務所等と連携をとりながら必要な情報の提供、家庭その他からの相談に応じ、必要な調査指導を行う。		
	対象	18歳未満の児童とその保護者		
年度別計画	手段	子ども相談室を設置し、子ども相談員を配置する。児童やその保護者に関する情報収集や指導について、子ども相談員を中心に要保護児童対策ネットワーク会議で情報共有を行う。		
		2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度
	○要保護児童対策ネットワーク会議を中心に関連期間と連携しながら対象者への支援、情報収集を行い児童虐待への対応を行う。	同左	同左	同左
		目標【2018(平成30)年度】		現状【2013年度末】
		要保護児童対策ネットワーク会議を中心としたさまざまな関係機関との連携が今まで以上に充実し、対象者への支援が組織的に行われる。		要保護児童対策ネットワーク会議を中心に対象者への支援を行っている。

<2017年度 進捗状況> 事業費(2017(平成29)年度実績額) 56,655 円

実施結果	要保護児童対策ネットワーク会議開催実績 代表者会議1回 実務担当者会議1回 ネットワーク会議21回 進行管理実務担当者会議12回		目標達成状況	児童相談所や警察署、保健福祉事務所等と連携をとっている。 上記に加え、教育部に入り幼・保・小・中・療育教育総合センター等との連携も進めている。	
	虐待児童数 身体的虐待7 心理的虐待25 ネグレクト28 性的虐待0 その他2 計62				
事業の反省点・問題点			工夫している点	課内や他課を問わず対象児童に関する情報連携に努めている。	
進捗状況	ア ①予定どおり進捗	個別事情 社会状況 状況変化等		総合評価	(a) 順調である

<審議会・懇話会等の意見>

		審議会等が 妥当と考える 評価区分

逗子市子ども・子育て支援事業計画

【事業進行管理表】
資料3

【総合計画の体系】 1-5		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 5 誰もが心豊かに子育てできるまち		
所管名	4150 子育て支援課	<input type="checkbox"/> リーディング事業	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			

事業概要	目的	地域における育児の相互援助活動を推進する。			
	対象	子育て中の保護者等			
	手段	乳幼児や小学生等がいる家庭の児童の預かりの援助を受けたい者と援助を行いたい者が会員となり、ファミリーサポートセンターが連絡調整を行う。			
年度別計画	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	
	○社会福祉法人青い鳥に運営を委託し、通常の預かりに加え病児・病後児預かりも実施。		社会福祉法人青い鳥に運営を委託し、通常の預かりに加え病児・病後児預かりも実施。		同左
			同左		同左
目標【2018(平成30)年度】			現状【2013年度末】		
ファミリーサポートセンター支援会員が500人になっている。 病児・病後児預かりについて市民に周知がされ、病児・病後児預かりができる支援会員が増えてきている。			依頼会員956人 支援会員279人 両方会員(依頼会員かつ支援会員である会員)169人 *病児・病後児預かりは2014年度(平成26年度)より開始。		

＜2017年度 進捗状況＞		事業費(2017(平成29)年度実績額)	10,275,792	円
実施結果	平成29年度会員数 依頼会員 1,096人 支援会員 302人 両方会員 201人 病児預かり可能会員 17人	工夫している点	支援会員の研修会の情報をポータルサイト等で積極的に行った。病児・病後児預かりに対する助成制度を行っている。	目標達成状況 支援会員+両方会員 = 503人 病児・病後児預かりの利用申請者33人(昨年度31人)
	事業の反省点・問題点			
進捗状況	ア ①予定どおり進捗	個別事情 <small>社考 状況 すべき 変化事 等種</small>	総合評価	(a) 順調である

＜審議会・懇話会等の意見＞

		審議会等が妥当と考える評価区分